

Ⅰ人Ⅰ台端末の利活用に係る計画

Ⅰ Ⅰ人Ⅰ台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

子どもたちがこれからの多様な情報化社会を生き抜くため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」をともに実現し、新たな時代に求められる創造力や情報活用能力の向上を目指す。

2 GIGA 第Ⅰ期の総括

美幌町では、GIGA スクール構想に基づき、令和2年度に全児童生徒へ学習者用端末の配布、小中学校内のネットワーク環境の整備及び自宅にネットワーク環境がない児童生徒へのモバイルルーターの貸出しを行い、令和3年度より運用を開始した。さらに、令和5年度には、各小中学校へ電子黒板を整備した。

また、個別最適な学習の実施に向けて、端末の持ち帰りによる家庭学習やデジタル教科書やデジタルドリルを導入し、Ⅰ人Ⅰ台端末の利用促進に努めた。

3 Ⅰ人Ⅰ台端末の利活用方策

(Ⅰ) Ⅰ人Ⅰ台端末の積極的活用

これまで、授業や校務における ICT 活用に関する校内研修や、DX 推進校での研修を受講し、教員間で共有するなどの各学校において積極的な取り組みを行っている。

今後も、各学校のニーズや課題に応じた研修を実施し、児童生徒が積極的にⅠ人Ⅰ台端末を活用した個別学習や協働学習が可能な授業づくりを確立する。

(Ⅱ) 個別最適・協働的な学びの充実

Ⅰ人Ⅰ台端末を活用し、児童生徒が自ら調べ、自分の考えをまとめ、発表・表現ができるような環境を整える。

また、引き続きデジタル教科書やデジタルドリルを活用し、児童生徒が理解度や学習進度に合わせた個別最適な学びを進める。

(Ⅲ) 学びの保障

様々な理由により学校に来ることができない児童生徒に対して、自宅でのオンライン授業やアーカイブ配信の視聴など、ICT を活用した学びの場を提供し、学校とのつながりをなくさないよう、引き続きⅠ人Ⅰ台端末を活用した支援を取り進めていく。